

第2回長崎市総合選手権大会における 新型コロナウイルス感染防止対策及び熱中症対策について

長崎市ソフトテニス連盟

【参加者について】

1. 選手・監督・コーチ・保護者役員のみとする。
2. 選手・監督・コーチ・保護者役員は、連盟指定のチェックシートを本部に提出すること。中学生・高校生は学校指定の健康観察記録表を監督に提出すること。（監督が取りまとめて、朝の受付時に参加料と一緒に提出）体調不良者は参加を認めない。
3. マスクを着用すること。ただし、高温多湿の環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるため、屋外で人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合には、マスクを外してよい。
4. 更衣室の利用は極力控えること。利用は着替え・シャワーのみに限定し、利用時以外荷物を置くことは禁止する。また、入室は一度に5名までとし、他の利用者と密にならないよう十分な距離（2m以上）を空けること。
5. トイレに並ぶ場合は十分な距離（2m以上）を空けること。
6. 試合をしていない時は、自陣に「密」を避けて待機すること。観覧席に座っての試合観戦は認めるが、十分な距離（2m以上）を保って観戦し、大声を出しての応援は控えるよう、チームで応援者に注意喚起を行うこと。
7. その他、三つの密「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人との距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策、こまめな水分補給や日傘・帽子の使用など熱中症対策を各自しっかり行うこと。（日傘は白・グレー・シルバーの使用禁止）

【試合について】

1. 開会式は行わず、表彰式のみ行う。
2. 試合中の選手と審判はマスクを外すこと。
3. 自陣のサイドのベンチに一番近い入り口から入場・退場し、入り口に設置された手指消毒液で消毒を行うこと。
4. 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行うこと。また試合後の選手間での握手、勝者サインも禁止とする。
5. 試合中、ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。

6. ベンチコーチのアドバイスは、3人座って前を向いて行う。対面で行う場合は、離れたところから、ペアの距離も取った上で行うこと。
7. 用具、用品(ラケット、タオル、ウェアなど)のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しをしないこと。
8. 審判用具、ボールの消毒を定期的に行う。試合終了毎に、審判は採点票を確認の上、クリップボード・鉛筆・ボールと一緒にかごに入れて本部へ持って行き、次の試合の用具一式を審判台まで運ぶこと。
9. 試合中の水分補給は、チェンジサービス時(ファイナルゲームではチェンジサイズ時)も認める。ただし、ベンチには戻らず、審判台の下に水筒等を置き、その場で水分を補給すること。
10. 試合が連続する場合は、試合が終了してから10分後に次の対戦を開始する。
11. 試合終了のたびに、こまめな手洗いをを行うこと。

【保護者役員について】

1. 中学生・高校生に限り、人数は最大で1ペアにつき1名(ただし1ペア参加の中学校は2名)まで、救護係としての保護者の役員参加を認める。
2. 保護者の入れ替わりは認めるが、入れ替わり者を含めた保護者全員のチェックシートを事前に提出すること。
3. 会場にいる間は、常に連盟が配布した役員IDを身につけること。IDがない場合は会場への入場を認めない。(IDは朝の受付時に配布する)

【その他】

1. 感染防止のために連盟が決めた措置を遵守し、その指示に従うこと。
2. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、連盟に速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。
3. チェックシートの提出や、参加者が遵守すべき事項について、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
4. 本大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。